



スマートフォンがもたらす 携帯電話端末市場の変化

現在、従来型の携帯電話（以下、フィーチャーフォン）からスマートフォンへの移行が世界的に進んでいる。電子情報技術産業協会（JEITA）の「移動電話国内出荷実績（2011年6月発表）」によると、スマートフォンの出荷台数は、2011年4～6月累計での移動電話のうち約216万台（前年同期比573.0%）と急増。移動電話におけるスマートフォンが占める比率は32.1%と初めて3割を超え、今後数年間もスマートフォンユーザーが増加し続けると各方面で予測されている。そこで、今回はスマートフォンとフィーチャーフォンとの比較を中心に携帯電話市場の変化に焦点を当てる。

文●長野晋也

Shinya Nagano

電通総研

チーフ・メディア・リサーチャー

フィーチャーフォン化が進む 国内スマートフォン

米インテル社の共同創業者であるゴードン・ムーア氏が提唱した「ムーアの法則」によると、コンピューターのCPUの性能は18カ月で2倍の性能になるという。昨年末にグーグルのエリック・シュミット会長が公言したように、この法則はスマートフォンにも当てはまり、今後数年間は端末スペックの向上と通信速度の高速化により、さらに快適な動作のモバイル端末が登場し続けることは間違いないだろう。

一方、日本では従来のフィーチャーフォンを特色づけていた主要な国内独自の機能がスマートフォンに搭載される動きが目立っている。具体的には2011年の夏モデル以降、「ワンセグ」・「赤外線通信」・「おサイフケータイ」等を継承するスマートフォンの発売が

相次いでいる。このような日本固有の機能を持つスマートフォンは「ガラスマ」（ガラパゴス・スマートフォンの略）と呼ばれている。ガラスマは、「グロスマ」（グローバル・スマートフォンの略）と呼ばれるiPhoneなどの海外製のスマートフォンと一線を画している。

さらには、タッチパネルを有しながら、フィーチャーフォンが培ってきた「テンキー」を搭載したハイブリッド・モデルまで発売されている。スマートフォンにおける「フリック入力（タッチパネルで文字入力可能な方式）」も徐々に浸透してきているとはいえ、従来慣れ親しんだ「テンキー」による文字入力の方が良いというユーザーの声も少なくない。こうしたハイブリッド・モデルがどこまで販売台数を伸ばしていくことができるか、スマートフォンの今後を占う上でも、その動向が注目される場所である。

フィーチャーフォン／スマートフォンの 買い替え意向について

インターネットコムとgooリサーチが7月に実施した「携帯電話／スマートフォン買い替え」についての調査では、国内ユーザーのスマートフォンに対する購買意欲を尋ねている。本調査では、自身の携帯電話を買い替える場合、「スマートフォンとフィーチャーフォン（PHSを含む）のどちらを使いたいですか」という質問をした結果〔図1〕、「現在の携帯電話からフィーチャーフォンに機種変更したい」人は40.7%、「スマートフォンに機種変更したい」は41.1%と拮抗していた。つまり、これまで慣れ親しんだフィーチャーフォンを使い続けたい層も相当数存在することが確認でき、したがって今後日本国内向けに発売されるスマートフォンについても、フィーチャーフォンの持つ機能や強みを

図1

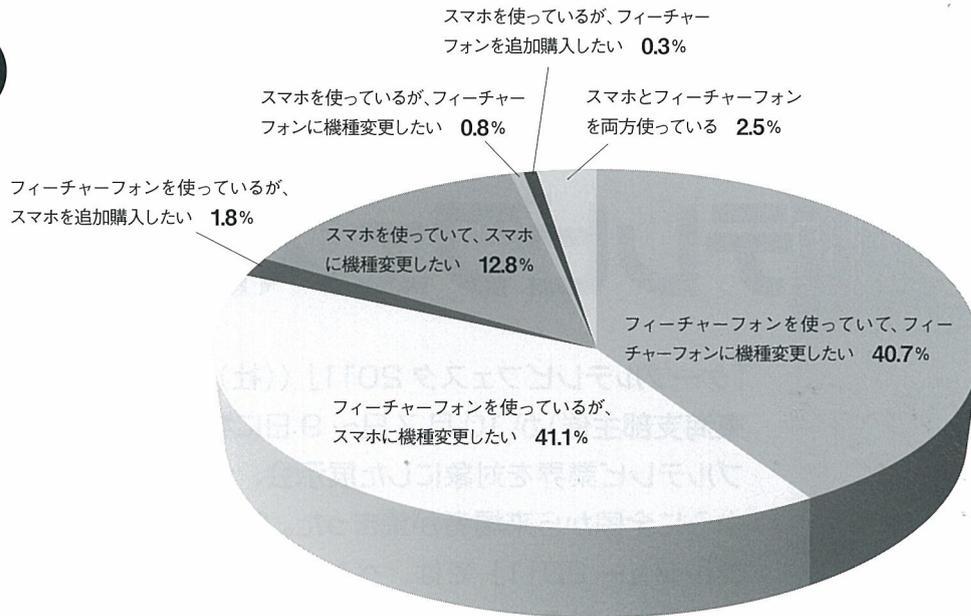
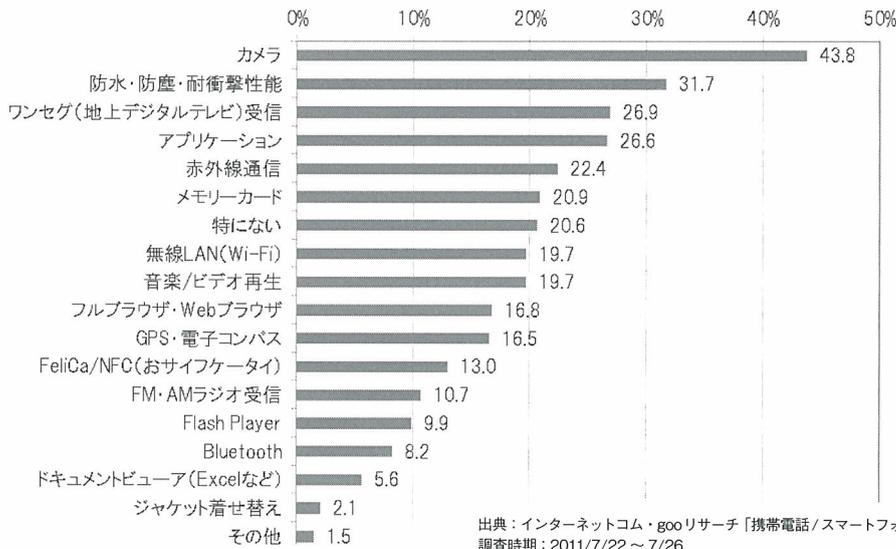


図2



十分に踏まえていく必要があることが伺える。

買い替える際に重視する機能

また、携帯電話を買い替える際に重視する機能についても尋ねている〔図2〕。その結果、「カメラ」43.8%が最も多いが、続いて「ワンセグ(地上デジタルテレビ)受信」「赤外線通信」「メモリーカード」などフィーチャーフォンがこれまで培ってきた機能が上位にランクした。一方、スマートフォン

の特徴の一つとも言える「アプリケーション」は26.6%で4位に留まっている。スマートフォンに対する人気は高いものの、先述の通り従来のフィーチャーフォンが有してきた機能を重視する層の厚さが伺える。

なお、「その他」と答えた1.5% (15人)に自由記述で重視する機能を尋ねたところ、「テザリング(スマートフォンをインターネットへ常時接続させる機能)」や「(緊急)地震速報」という意見があった。このようなニーズに応えるかたちで、(緊急)地震速報を標準搭載

するスマートフォンの発売が今冬に予定されている。

以上の結果から、携帯電話ユーザーの端末に求めるニーズは、端末の種類も機能に対しても細分化されていることが浮き彫りになった。今後数年間はフィーチャーフォンとスマートフォンの共存する時代が続くため、モバイル端末やその上で展開されるサービスのマーケティングにおいて、ユーザーのニーズに合わせた従来以上にきめ細かなコミュニケーション手法が必要になるのは間違いないようである。